



## 平成18年度「すばらしいまち写真コンテスト」の受賞作品が決定しました!

まちづくり月間(6月)を契機に、県民の皆さん一人一人に自分たちのすばらしい「まち」(自慢できるまち、誇れるまち)を改めて見てもらい、これからの「まち」のすがたを考えるきっかけづくりを目的に写真を募集したものです。

審査会は平成18年9月27日(水)に行われ、多数応募の中から各部門、最優秀賞1点、優秀賞3点の計8点が選ばれました。受賞されたみなさん、おめでとうございます!

表彰式は、平成18年10月20日(金)13時15分からピックパレットふくしまで開催される「まちづくりシンポジウム」の中で行います。

また、応募いただいたすべての作品を会場に展示いたしますので、是非、ご来場下さい!

### 最優秀賞受賞作品



「まちと人」部門  
蔵と町民  
(佐藤 恒雄さん)



「まちの風景」部門  
渡利水辺の楽校の夕べ  
(渋谷 浩一さん)

本紙で紹介している受賞作品はまちづくり推進グループのホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

<http://www.pref.fu.kushima.jp/machi/h18photo.html>

### 優秀賞受賞作品



「まちと人」部門  
楽しい鉄棒  
伊藤 松男さん



「まちと人」部門  
村祭り  
佐藤 邦大さん



「まちと人」部門  
七夕の夜  
清野史彦さん



「まちの風景」部門  
収穫の季節  
浅野 景一さん



「まちの風景」部門  
ビルの中  
近藤 正男さん



「まちの風景」部門  
春爛漫  
大竹 菜月さん

# まちの元気の一役！あなたのまちの宝物

前号からシリーズ（全3回）でお伝えしている「地域資源を活かしたまちづくり」。

第2回は、杉などの地場産材を活かしたまちづくりに取り組んでいる山形県金山町をご紹介します。

あなたがみつけた、まちの宝物。まちの元気につながる活用方法を、ご近所さんと話してみてもいいでしょうか？

## こころ豊かに、百年先も…。～金山～

さくらんぼやラ・フランスの国内収穫量第1位で有名な山形県。数多くの温泉地としても知られていますが、県内の全市町村で温泉が湧くんだとか。うらやましい限りですね！

今回ご紹介する山形県最上郡金山町は、町域の4分の3が森林で占めている、自然に恵まれた地です。この森林から生まれるのが、まちの特産品“金山杉”です。この杉から生まれたのが“金山型住宅”で、金山のまち並みづくりには欠かせないものとなっています。

1984年「街並み景観づくり百年運動」が提言され、100年かけて自然（風景）と調和した美しい街並みをつくっていく、また、林業等の地場産業の振興や人と自然の共生を図り続けています。この、「町並み景観づくり百年運動」、観光客のためというよりは、そこに住む人自身のために景観を守っているという印象を受けませんか？

「金山型住宅」の普及、豊富な水、まちを守り続けてきた山々。これらは、まちの人達の貴重な財産です。明治期、「杉の美林が失われる」という理由から、奥羽本線の敷設を拒否し、また、昭和や平成の大合併という幾度とあった合併の流れに合わなかった独自の強い町は、これからも時代の流れに左右されずにまちの宝物を守り続けていくことでしょう。

### 金山型住宅

まちの顔である“金山型住宅”。普及を促す説明会等を行うのではなく、「住宅建築コンクール」(昭和53年から実施)で住宅の普及と金山大工の技術向上をはかっています。

金山型住宅を建てる時には、助成金がもらえるそうです。



### 役場前の通り

役場前の通りには、金山型住宅が立ち並んでいます。



大美輪の杉美林、金山型住宅のつくる時には欠かせません！



### 木造屋根付き橋梁

国内では珍しく、住民や観光客の憩いの場となっています。



### 金山町商工会



上台峠から金三峰を眺める

旅行作家イザベラ・バードが見た景色と同じ(?)景色が眼下に広がります。



大堰

まちのシンボルで町民の憩いの場となっている大堰。春から秋にかけては鯉が放流されるそうです。金山の大動脈ともいえるでしょう！



長屋門

金山城取り壊し時に大手門を移譲したと伝えられています。金山地方では最も古い建造物のひとつです。



蔵史館(くらしかん)

古い土蔵を改造して造った施設でまちの文化活動の拠点となっています。日曜日にはお茶のサービスも！！



交流サロンぼすと

旧金山郵便局を利用した休憩スペース。誰でも利用できます！



まちなかには公衆トイレはほとんど無く、公共的施設のトイレを利用しています。また、各々の施設は、統一された案内をしています。(写真が無いのが残念ですが…)  
金山を訪れた際には、案内表示にも足を止めてみてくださいね！  
新たな発見があった時には、ご報告お待ちしております(^-^)/

今号の問題です！

人工林としては国内最大の大美輪の美林は、128本もの巨木群です。ここには、大杉と大杉の2種類の杉が植えられています。

さあ、の中には何が入るでしょう？  
レポートの中に答えがあるかも！？

“大美輪”とは地名のことを言います。

前号の問題の答え(の中が答えです)  
われらが福島県にも名水百選に選ばれているところが2箇所あります。さて、それはどこでしょう??

ヒント：地元の酒造りの仕込み水としても使われている磐梯町の“磐梯西山麓湧水群”と、百貫の価にも換ふべからず」とたたえられた北塩原村の“小野川湧水”。

次号「地域資源を活かしたまちづくり」は、福島県桑折町での取り組み「街道を活かしたまちづくり」をご紹介します。お楽しみに！



# まちづくりシンポジウムを開催します

開催日時 平成18年10月20日(金)  
13:15~16:00

会場 ビッグバレットふくしま  
3階【中会議室】 (郡山市)

**入場無料**

まちづくりシンポジウム

連携・協力によるまちづくり

**プログラム**

13:15 主催者あいさつ  
すばらしいまち写真コンテスト表彰式

13:50 事例発表  
県内、県外の地域団体によるまちづくりの活動事例発表

14:35 パネルディスカッション  
各地域団体による「連携・協力によるまちづくり」に関する意見交換

**事例発表 パネリスト**

対座 晃吉さん (伊賀町 森の案内人)  
菊地 恵一さん (宮城県水戸市(株)製菓)

**パネリスト**

星 賢孝さん (三好町 早戸温泉つるの湯温泉旅館)  
寺主 君男さん (ふたば町 鶴の山温泉ホテル)  
石橋 政子さん (湯前町 湯前町女性団体連絡協議会)

**コーディネーター**

秋元 正國 (福島県土木部都市環境政策課)

**主催 福島県**

まちづくり推進グループでは、～連携・協力によるまちづくり～をテーマに、まちづくりシンポジウムを開催します。

すばらしいまち写真コンテストの表彰式を始め、県内外の地域団体によるまちづくり活動の事例発表や、各地域団体による意見交換等も行います。**入場無料**ですので、みなさんお気軽にご参加ください

事前にお申しいただくと、受付がラクにできます！(様式はホームページからダウンロードできます)

**パネリストの活動内容**

対座 晃吉さん	伊賀町で、地域の宝である竹林「熊本の虎」の保全と案内や、自然体験を通じ「都会」と「山」の交流による地域づくりを実践しています。
菊地 恵一さん	宮城県水戸市において、街なかの変わっていかぬ「通り商店の歴史・職」を食の産として活用し産交を行い、地域の活性化に取り組んでいます。
星 賢孝さん	只見川の自然と三好町の早戸温泉を活用し、湯前線による観光下り温泉を行うなど、温泉を中心とした観光の発展の促進に取り組んでいます。
寺主 君男さん	今話題の映画「アガルル」の舞台となっているゆき湯温泉において、各種連携のしとしろ温泉を企画し、温泉を訪れる人との交流や賑わいづくりの場として活用しています。
石橋 政子さん	湯前・湯前街道の沿道の増える湯前町において、イベントの開催、空き家の活用など、街道を活かしたまちづくりに取り組んでいます。

**交通案内**

まちづくりシンポジウム参加申込書

住所	〒
氏名	
所属(団体名)	
電話番号	
E-mail	

※まちづくりに関する取り組み、活動の紹介ができれば、ご記入願います。

この表をFAX(024-521-7956)又は、同様の様式でE-mail(toshikeikaku-pc@pref.fukushima.jp)してください。

お問い合わせ先  
**福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ**  
電話:024-521-7510 FAX:024-521-7956 E-mail:toshikeikaku-pc@pref.fukushima.jp

## 編集者ひとりごと

県内の山間部では木の葉が色づき始めている頃でしょうか？

県土が広い福島県は、桜と同様に紅葉も長い期間楽しむことができます。有名な紅葉スポットに行くもよし、自分だけの秘密の場所を見つけてみるのもいいですよ(^-^)



## 編集後記

「うつくしま、まちづくり推進レポート」(Vol.24)はいかがでしたでしょうか？これから皆様と一緒に、より充実したものにしていきたいと思っておりますので、取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら遠慮なくお寄せ下さい。

メールマガジン(無料)の申し込みをご希望される方は、

1. 団体会社名、
  2. 氏名、
  3. メールアドレス、
  4. 電話番号等(送信エラーの際のご連絡のため)、
  5. よろしければ、
  6. 性別、
  7. 年齢を記入の上、
- まちづくり推進グループのメールアドレスまで希望する旨ご連絡下さい。

登録された方には、レポートの更新情報などをメールにてご案内いたします。

### 【発行元】

福島県土木部都市領域まちづくり推進グループ  
〒960-8670 (住所記載不要)

TEL 024-521-7510

FAX 024-521-7956

e-mail [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>